

本時のねらい

- ・なみぬいを正しく安全に行うことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・「ふりかえり」の場面で、1時間ごとの成果を写真と振り返りの言葉で記録する。
- ・実習の成果物を記録しながら自己評価を行うことで、うまくいった点や反省点を振り返り、次回への意欲につなげる。
- ・毎時間タブレットに記録を残すことで、教員や児童自身が技能の向上過程を確認することができる。
- ・発表ノートを活用し、全体で共有することで、友だちの成果を知ることができ、アドバイスし合う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・SKY MENU Classの発表ノート
- ・モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題を知る。 ・縫い方の基本である「なみぬい」について、知っていることを発表する。 ・動画をもとに正しく安全に縫う方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「なみぬいの仕方」の動画を視聴する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○練習布で、なみぬいをする。 ・まずは、ひと針ずつ針を布に通して、抜きながら縫っていく方法で縫う。 ・可能であれば、2～3針ずつ続けて縫う方法でも挑戦する。 ○発表ノートに本時の成果をまとめる。 ・自分の練習布をタブレットで写真を撮り、うまくいった点や反省点、次回に活かしたいポイントなど、自分の上達ぶりを整理し次回の意欲へとつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影機能で写真を撮り、言葉で説明を加えることで本時の学びや工夫点を言語化する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○作成した発表ノートを共有する。 ・自分の成果を発表する。 ・友だちの成果から、アドバイスやコツ・ポイントを知り、次回につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体の本時の成果や、次時への見通しについて、共有する。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：本時の成果を発表ノートにまとめている場面



写真2：本時の成果物を写真撮影している場面



写真3：作成したスライドをモニターに映し、全体で共有している場面

児童生徒の反応や変容

- ・毎時間の振り返りをもとに、自己の変容をとらえることができた。
- ・発表ノートに「なぜ、うまくいったのか」「うまくいくコツ」などの振り返りを書く児童もおり、全体で共有することで「そうすれば良かったのか」「今度やってみよう」など、児童同士でのアドバイスやヒントにつながり、互いに学び合い、今度に活かそうとする意欲的な姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・教員だけが実習の評価をするのではなく、児童が自身の表現で記録することで自己評価にもつながった。
- ・実習活動において、1時間の成果をまとめたり、ふりかえったりする活動としてのタブレット活用は有効的だった。